

人物文献目録

2023-2025

I 日本人編

凡 例

1. 収録期間と範囲

2023年1月～2025年12月に刊行された図書・雑誌から、日本人23,610人に関する人物文献（伝記・日記・回想・人物論・年譜・著作リスト・書誌等）46,868点を収録した。

2. 見出し語

- (1) 見出し語は本姓名によったが、通称・別称等が一般的と思われるものはそれを採用した。
- (2) 人名見出し以外に一般に通称化した集団・血族名（例：徳川家）なども、見出し語として採用した。
- (3) 検索の便を図るため、適宜参照を用いた。
- (4) 漢字は原則常用漢字・新字としたが、一部旧字を使用したものもある。

3. 見出しの排列

- (1) 見出し語の読みの五十音順とした。その際、姓名の読みを一単位として排列した。
- (2) 濁音・半濁音は清音扱いとし、ヂ→シ、ヅ→スとした。拗音・促音は直音扱い、長音符（音引き）は無視した。
- (3) 世系などがある場合は必要に応じて補記した。

4. 文献の排列と記載の形式

(1) 排列

見出し語のもとに、図書、雑誌の順とし、各々の初めに◎・○を付して識別した。複数の場合は、刊行年月順とした。

(2) 記載の形式

下記の原則によって記載した。

1) 図書

◎書名―副書名／巻次／（著編者等）／出版者／刊行年月／総ページ数（叢書名）

なお、論集・図書の一部分については以下のように記載した。

◎論題／（著者）／『書名―副書名』／（著編者等）／出版者／刊行年月

2) 雑誌の論文

○論題／著編者／「誌名」／発行者／巻（号）／発行年月／掲載ページ

5. 参考資料

主に以下のデータベースを参考にした。

BookPlus

JAPAN/MARC

TRC MARC

MagazinePlus

【あ】

AI

◎ひとりじゃないから(AI著) 幻冬舎 2025.11 159p

相浦 正信 あいうら・まさのぶ

○対馬のタイワンウチワヤンマとコフキトンボの初記録について: 相浦正信氏による2007年初確認時の展示標本解説から(菊部治紀, 加賀玲子, 谷尾崇) 「Tombo: Acta odonatologica Japonica」日本トトンボ学会 67(1) 2024.6.15 p51~53

相生垣 瓜人 あいおいがき・かじん

○蛇笏賞の歴史: その作品と受賞理由を説く(第36回・最終回) 脱俗仙境に遊ぶ隠者: 相生垣瓜人(坂口昌弘) 『俳句』角川文化振興財団, KADOKAWA(発売) 74(12) 2025.12 p152~157

藍芽 みずき あいが・みずき

◎藍い鍵盤—藍芽みずき写真集(太田清陸撮影) ジーウォーク(発売) 2023.12 1冊

相川 和子 あいかわ・かずこ

◎コンドフカー日露の狭間を生きた一族の記録(相川和子著) 恵雅堂出版 2025.2 271p

相川 啓太 あいかわ・けいた

○今月の新潮文庫 新人SF作家の超贅沢なショーケース: 星に届ける物語 日経「星新一賞」受賞作品集(大森望) 「波」新潮社 59(3) 通号663 2025.3 p116~117

相川 賢太郎 あいかわ・けんたろう

◎相川賢太郎様を偲ぶ追悼文集 相川賢太郎様追悼文集編集委員会 2023.9 140p

相川 高信 あいかわ・たかのぶ

○一般社団法人エネルギー・資源学会 2025年新春座談会 エネルギーと環境から見る食のサステナビリティ(木村幸, 杉本南, 相川高信, 塩原太郎, 吉田好邦, 高瀬香絵) 「エネルギー・資源」エネルギー・資源学会 4(1) 通号269 2025.1 p3~13

鮎川 義介 あいかわ・よしすけ

○無私奉公の人 鮎川義介の生き方に学ぶ 特集 人生の四季をどう生きるか(鮎川雅子) 「致知」致知出版社(573) 2023.4 p30~33

相川 亮二 あいかわ・りょうじ

○シリーズ 首脳陣に聞く [4] 相川亮二(DeNA/チーフ作戦兼バッテリーコーチ) —「少しでも多く得点できるように、少しでも失点を少なくできるように」(相川亮二, 武石来人取材・構成) 「週刊ベースボール」ベースボール・マガジン社 78(11) 通号3824 2023.3.20 p98~101

○2025球界NEWS DeNA・三浦大輔前監督と相川亮二新監督 異例のバトタッチ会見 「週刊ベースボール」ベースボール・マガジン社 8(57) 通号4002 2025.11.10 p131

相木 孝仁 あいき・たかひと

○インタビュー 小売業のデジタル活用はもはや当然 デジタル部隊を4倍の150人体制に(ベイシア社長 相木孝仁氏(相木孝仁)) 「日経コンピュータ」日経BF(1090) 2023.3.16 p60~63

aiko

○VOICES 08-10 aiko(ミュージシャン) /舟崎彩乃(ラジオディレクター) /高橋直(放送作家) (PERSONA 井口理の実像と虚像) (aiko, 舟崎彩乃, 高橋直, Kisshomaru, Shimamura [photography], Syuya, Aoki [photography]) 「SWITCH」スイッチ・パブリッシング 4(3) 通号396 2023.3 p44~47

愛甲 千笑美 あいこう・ちえみ

◎会いたくなった?—愛甲千笑美1st写真集(花村克彦撮影) KADOKAWA 2023.8 1冊

あいさ

◎はっぴーまいんど—あいさ1st Style BOOK(あいさ著) st-YOLO 2025.1 127p

逢坂 冬馬 あいさか・とうま

○『ブレイクショットの軌跡』逢坂冬馬(こんげつのブックマークEX) (野本由起取材・文) 「ダ・ヴィンチ」KADOKAWA 3(5) 通号373 2025.5 p22~23

逢崎 遊 あいざき・ゆう

○インタビュー 逢崎遊 第36回小説すばる新人賞『正しき地図の裏側よ

り』自分に近い主人公に旅をさせたいと思った(すばる文学賞・小説すばる新人賞 受賞作刊行記念特集) (逢崎遊, タカザワケンジ) 「青春と読書」集英社 59(3) 通号572 2024.3 p20~25

愛沢 えみり あいざわ・えみり

○インタビュー [3] 愛沢えみり—キャバ嬢から社長兼モデル(特集2 辞めたその先に見えてくるもの 鈴木おさむと拓く、新しい道—新しい世界で活躍する「辞めた人」に聞く『仕事の辞め方』私の読み方) (愛沢えみり, 松井美緒取材・構成・文) 「ダ・ヴィンチ」KADOKAWA 3(4) 通号360 2024.4 p132

相澤 克之 あいざわ・かつゆき

○私のVisionと経営戦略(社会医療法人財団 慈泉会 副理事長 相澤克之氏 法人全体を俯瞰的に見る「折衝役」次世代の幹部候補生の確保と育成 相澤克之) 「Visionと戦略: 医療・福祉経営の新時代と人材を創る」保健・医療・福祉サービス研究会 2(9) 通号247 2024.9 p2~5

相澤 久美 あいざわ・くみ

○座談会「能登」の観光の創造的復興と1歩 特集 観光と能登: 震災・豪雨災害からの復興をどう考えるか(相澤久美, 上田知史, 海津ゆりえ, 北川真理, 刀祢秀一, 林俊伍, 清水哲夫, 片桐由希子) 「観光研究: 日本観光研究学会機関誌」日本観光研究学会 3(2) 2025.3 p74~81

相澤 真一 あいざわ・しんいち

○自著を語る y-know『これからの教育社会学』教育社会学は、あなたの人生のバンドラの箱を開ける学問!(相澤真一・伊佐夏実 内田良・徳永智子著(相澤真一) 「書斎の窓」有斐閣(687) 2023.5 p54~58

相澤 末子 あいざわ・すえこ

◎縁あき—自伝(末広末来著) アスカ・エフ・プロダクツ, 明日香出版社(発売) 2024.5 151p

会沢 正志斎 あいざわ・せいしさい

◎吉田俊純論文集 第1号 吉田俊純 2023.8 72p

◎吉田俊純論文集 第2号(吉田俊純編集) 吉田俊純 2024.7 55p

◎吉田俊純論文集 第3号(吉田俊純編集) 吉田俊純 2025.7 66p

◎会沢正志斎と水戸学の国体論(藤野博著) 勉誠社 2025.9 183p

◎会沢正志斎の孝について(松崎哲之) 「中国文化」中国文学学会(82) 2024 p44~56

◎会沢正志斎の「国体」: 後期水戸学の自我認識(木下開智) 「史観」早稲田大学史学会 192 2025.3 p1~29

◎後期水戸学における中国古典と「心」: 会沢正志斎を中心に(大会特集 江戸時代に於ける中国古典と『心』と) (関口直佑) 「藝林」藝林会 74(1) 通号293 2025.4 p75~104

相沢 友夫 あいざわ・ともお

◎「ちがうかかわるかわる」だから面白い—学びこそ我が人生(相沢友夫) 諏訪書房 2025.1 216p

相沢 菜々子 あいざわ・ななこ

◎N—相沢菜々子写真集(西條彰仁撮影) 講談社 2024.7 [96p]

監沢 南城 あいざわ・なんじょう

◎監沢南城の学問と教育(村山敬三著) 汲古書院 2023.4 608p

相澤 宏明 あいざわ・ひろあき

○わが歩みきし道の草 6(相澤宏明) 「国体文化: 日本国体学会機関誌: 里見日本文化学研究所発表機関: 立正教団発表機関」日本国体学会, 里見日本文化学研究所(1218) 2025.11 p14~19

○わが歩みきし道の草 7(相澤宏明) 「国体文化: 日本国体学会機関誌: 里見日本文化学研究所発表機関: 立正教団発表機関」日本国体学会, 里見日本文化学研究所(1219) 2025.12 p10~15

相沢 文伸 あいざわ・ぶんちゆう

○前島密とゆかりの人々(1) 相沢文伸・倉石洞窩・安積良春・桜任蔵・達摩屋五一・大槻密溪・平岡照一(井上卓朗) 「郵便史研究: 郵便史研究会紀要」郵便史研究会(56) 2023.10 p39~47

相澤 正彦 あいざわ・まさひこ

◎相澤正彦教授の退任に寄せて(相澤正彦教授退任記念) (岩佐光晴) 「美学美術史論集」成城大学大学院文学研究科 23 2024.3 p3~6

逢沢 みゆ あいざわ・みゆ

◎相逢—逢沢みゆ1st写真集(富田恭透撮影) 双葉社 2024.10 1冊

◎me=you—逢沢みゆ写真集(植野恵三郎撮影) 徳間書店 2025.3 1冊

◎プレミアムヌードポーズブック Model逢沢みゆ(田村浩章撮影) ジーオーティー 2025.7 128p

逢沢 りな あいざわ・りな

◎月刊逢沢りな(ND CHOW撮影) 講談社 2024.6 [128p]

会津 八一 あいす・やいち

◎雁魚来往 1(雁魚来往研究会, 会津八一記念館編集) 新潟市会津八一記念館 2023.3 108p

◎會津八一と大和路—入江泰吉・杉本健吉とともに：特別展 會津八一記念館図録編集）新潟市會津八一記念館 2024.10 96p

◎会津八一（喜嶋奈津代著）新潟日報メディアネット 2025.4 109p（新潟県人物小伝）

◎会津八一とコレクション—博士の愛した中国美術：会津八一記念館開館50周年記念：特別展 会津八一記念館図録編集）新潟市会津八一記念館 2025.10 96p

○会津八一コレクション 東南アジアの埤伝に関する一試論 横山未来、CHHUMMenghong）「早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要」早稲田大学會津八一記念博物館 25）2023年度 p3~17

○会津八一記念博物館所蔵の神縄関係考古・民俗資料について(上)(山崎真治,谷川遼,樋泉岳二)「早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要」早稲田大学會津八一記念博物館 25) 2023年度 p69~88

○糸日谷誠とコレクションの會津八一墨蹟 行方敬太郎,村田光樹)「早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要」早稲田大学會津八一記念博物館 25) 2023年度 p89~107

○會津八一記念博物館所蔵の栃木県の古代瓦：三次元計測を用いた瓦の資料報告(3)(谷川遼,高橋亘,高林奎史,横山真,千葉史)「早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要」早稲田大学會津八一記念博物館(25) 2023年度 p115~131

○近代日本における“東洋美術史”講義の中での東南アジア：早稲田大学會津八一記念博物館所蔵 會津八一蒐集東南アジアの仏像をめぐって(太田小雪,米本友梨江)「早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要」早稲田大学會津八一記念博物館 25) 2023年度 p133~143

○會津八一の石版と落款(角田勝久)「書叢」新潟大学大学院現代社会文化研究科,新潟大学書道研究会 35) 2023.3 p27~31

○秋仲道人會津八一と正倉院：遺墨「金銀平文琴銘」短冊とその周辺(竹居明男)「日本古書通信」日本古書通信社 88(7) 通号1128 2023.7 p6~8

○會津八一記念博物館所蔵の神縄関係考古・民俗資料について(下)(山崎真治,谷川遼,有村元春,樋泉岳二)「早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要」早稲田大学會津八一記念博物館 26) 2024年度 p73~91

○新潟県 歴史の中の「二人」(vol.22)新潟県の地方文化に大きく貢献した 會津八一と相馬御風(伊藤亮)「Monthly:新潟の現在・未来」第四北越りサーチ&コンサルティング(出版) 2024.6 p18~21

○会津八一と外国文学(宮永孝)「社会志林」法政大学社会学部学会 7Ⅰ(2) 通号260 2024.9 p98~40

○會津八一が俳句に込めた思い(小川貴史)「書叢」新潟大学大学院現代社会文化研究科,新潟大学書道研究会 37) 2025.3 p2~5

○會津八一 書の原点(喜嶋奈津代)「奈良美術研究」奈良文化研究所(26) 2025.3 p27~40

藍染 カレン あいぞめ・かれん

◎藍染—藍染カレンフォト エッセイ(藍染カレン著) 玄光社 2025.1 126p

あいだ 夏波 あいだ・なつみ

○『花男』ファンがその魅力を語る！『花男』Forever…私たちが今も“キュン”とする理由—あいだ夏波(マンガ家)/大島美華(森三中・芸人)/城紀美保(俳優)/松下優也(歌手・俳優)(特集1「キュン」のすべてがここにある ずっと『花より男子(だんご)』に夢を見たい！)(あいだ夏波,大島美幸,城紀美保,松下優也,斎藤春子取材・文)「ダ・ヴィンチ」 KADOKAWA 3Ⅰ(5) 通号349 2023.5 p37~40

相田 二郎 あいだ・にろう

○歴史家相田二郎と神奈川県立金沢文庫(佐藤博信)「金沢文庫研究」神奈川県立金沢文庫 351) 2023.10 p5~19

会田 誠 あいだ・まこと

◎性と芸術(会田誠著) 幻冬舎 2025.1 251p(幻冬舎文庫)

会田 容弘 あいた・よしひろ

○山形考古学会と私(山形考古学会創立50周年記念号—特集 山形考古学会創立50周年—山形考古学会50年を振り返る)(会田容弘)「山形考古」山形考古学会 52) 2023.1 p46~48

逢田 梨香子 あいだ・りかこ

◎日々—逢田梨香子写真集 カノウリウウマ撮影) イマジカインフォス,主婦の友社(発売) 2024.4 1冊

相浦 みどり あいのうち・みどり

○座談会 超高層が拓くまちと社会(超高層とは何なのか?)(大森みどり,齋藤精一,相浦みどり,勝矢武之,海野玄陽,竹中大史)「建築雑誌」日本建築学会 14Ⅰ(1798) 2025.3 p20~25

相場 正一郎 あいば・しょういちろう

◎ライフという名のレストライヴ(相場正一郎著) mille books,サンクチュアリ・パブリッシング(発売) 2023.11 180p

相場 大佑 あいば・だいすけ

◎僕とアンモナイトの1億年冒険記(相場大佑著) イースト・プレス 2023.1 221p

相場 英雄 あいば・ひでお

○『サドンデス』相場英雄 こんげつブックマークEX)(松井美緒取材・文)「ダ・ヴィンチ」 KADOKAWA 3Ⅰ(10) 通号354 2023.10 p18~19

相葉 裕樹 あいば・ひろき

○Interview [5] ポムフィオーレ寮 相葉裕樹 ヴィル・シェーンハイト)—他人にも自分にも厳しいのは、可能性を信じているから(特集1 ディズニープラスで10月29日より独占配信！『ディズニー ツイス テッドワンダーランド ザ アニメーション』の魔法にかけられて—ディズニーヴィランズの精神に基づく 各寮の寮長たち—個性的な寮と、そこに集う生徒たちの魅力)(相葉裕樹,立花もも取材・文)「ダ・ヴィンチ」 KADOKAWA 3Ⅰ(11) 通号379 2025.11 p36

粟飯原 一雄 あいばら・かずお

○ニューメンバーズ・サービス委員会30周年記念座談会 歴代委員長が語る「TKC会員事務所1万超体制」達成を目指して(粟飯原一雄,永田智彦,刈谷敏久,畑義治,田口操,甲賀伸彦)「TKC」TKC全国会(600) 2023.1 p32~39

相原 昇 あいはら・のぼる

◎熱く冷静に、燃えながら冷静に—高校バレーきっての智将が明かす育成と組織術(相原昇著) ベースボール・マガジン社 2023.3 157p

相原 美咲 あいはら・みさき

◎Sensational Maverick—Misaki Aihara(高橋慶佑撮影) G-STYLE 2025.3 1冊 TWJ BOOKS)

相原 有希子 あいはら・ゆきこ

○キャリアを追いつづ子育てを楽しむススム(女性形成外科医の出産・育児とキャリアアップの両立:勤務医編)(相原有希子)「形成外科」克誠堂出版 6Ⅰ(8) 2024.8 p771~775

粟飯原 龍之介 あいばら・りゅうのすけ

○ファームから熱き魂で挑む！ 進撃のHOPEたち[3] 横浜DeNAベイスターズ 粟飯原龍之介(内野手/2年目/19歳)一春に感じた本拠地の魅力(粟飯原龍之介,武石來人取材・構成)「週刊ベースボール」ベースボール・マガジン社 7Ⅰ(17) 通号3830 2023.4.24 p89~91

相星 雅子 あいほし・まさこ

○相星雅子の「引揚げ文学」とその反戦平和思想(定田京子)「鹿児島県立短期大学地域研究所研究年報」鹿児島県立短期大学地域研究所(55) 2023 p27~45

相見 香雨 あいみ・こうう

◎相見香雨—松江が生んだ美術史家 桑原羊次郎・相見香雨研究会編著)松江市文化スポーツ部松江城・史料調査課 2025.3 104p(松江市ふるさと文庫)

あいみよん

○あいみよんの使用語彙(荻原廣)「文学部論集」佛教学大 107) 2023.3 p97~110

○CAST あいみよん—生きるための糧として(特集 ジブリをめぐる冒険—宮崎駿『君たちはどう生きるか』を観る—INTERVIEW)(あいみよん,Go,Sugawara(text))「SWITCH」スイッチ・パブリッシング 4Ⅰ(9) 通号402 2023.9 p42~43

○超歌謡論 第38回)あいみよん「NOT OK」から(大月陸寛)「出版人・広告人」出版人 1Ⅰ(11) 通号128 2023.11 p116~121

○あいみよんの使用語彙:尾崎豊との比較(荻原廣)「文学部論集」佛教学大 108) 2024.3 p49~64

○主題歌&挿入歌を担当！インタビュー あいみよん(特集2『映画ドラえもん のび太の絵世界物語』3月7日公開！いま、出会いたい『ドラえもん』)(あいみよん,野本由起取材・文)「ダ・ヴィンチ」 KADOKAWA 3Ⅰ(4) 通号372 2025.4 p136

愛Ris あいりす

◎にじいろ—愛Ris写真集(矢野力撮影) アースダイバー,ジューオーク(発売) 2024.6 1冊 G-MOOK)

Aile The Shota

○Novel Core(SOLO ARTIST)×Aile The Shota(SOLO ARTIST)—正解は一つじゃない(特集 WHAT IS BMSG?) (Novel Core,Aile The Shota,Junichiro,Itakotext)「SWITCH」スイッチ・パブリッシング 4Ⅰ(11) 通号428 2025.11 p17~19

巖庭 篁村 あえば・こうそん

○「バ」と「バ」の変：巖庭篁村「墮落の墜落」私見(特集 文学と技巧)(池田一彦)「成城国文学論集」成城大学大学院文学研究科 44 2023.3 p77~101

誌) 日本建築学会 14Ⅰ(1805) 2025.9 p20~26

青木 浩治 あおき・こうじ

○献辞(青木浩治教授退職記念号)「甲南経済学論集」甲南大学経済学会 6Ⅰ(3・4) 通号301・302 2023.3 p1~3

青木 昆陽 あおき・こんよう

◎甘藷先生の置き土産—青木昆陽と千葉のさつまいも：令和4年度企画展関連資料集(千葉市立郷土博物館編集) 千葉市立郷土博物館 2023.3 79p

○千葉市立郷土博物館令和四年度企画展示「甘藷先生の置き土産：青木昆陽と千葉のさつまいも(猪野映里子)「地方史研究」地方史研究協議会 7Ⅰ(2) 通号422 2023.4 p76~79

○享保の飢饉と荒作作物甘藷について：書物奉行深見有隣(ありちか)と青木昆陽の功績(日本医史学会関西支部二〇二二年秋季学術集会抄録)(今井秀)「医譚」日本医史学会関西支部 117) 2023.6 p10872~10874

青木 さやか あおき・さやか

◎母が嫌いだっただわしは母になった(青木さやか著) KADOKAWA 2023.2 255p

◎50歳。はじまりの音しか聞こえない—青木さよかの「反省道」(青木さやか著) 世界文化ブックス 2023.10 271p

青木 茂男 あおき・しげお

○青木茂男：予算研究の泰斗(特集 戦後会計偉人伝：80年を紡いだ巨星たち)(大塚宗春)「企業会計」中央経済社,中央経済グループパブリッシング(発売) 7Ⅰ(9) 2025.9 p1195~1199

青木 重孝 あおき・しげたか

◎医師会仕事は遊びにすぎん—青木重孝自伝(青木重孝著) 風媒社 2023.12 225p

青木 繁 あおき・しげる

◎青木繁 妙義・房川編(吉野博美著) アーツアンドクラフツ 2023.11 249p 図版16p

◎青木繁「海の幸」記念館開館10周年記念誌(小谷福智著) 青木繁「海の幸」記念館を保存する会 2025.4 28p

○青木繁と古代ギリシャとの接点:『ギリシャ武人』とヒュラスの和歌について(五之治昌比呂)「日本語・日本文化」大阪大学日本語日本文化教育センター(50) 2023.3 p193~209

青木 茂 あおき・しげる

○青木茂建築工房のリファイニングの取組み(特集 建物価値と性能向上へのリノベーション技術—リノベーション計画のポイント)(秋山徹)

「建築技術」建築技術 882) 2023.7 p60~63

○若久病院：設計 青木茂建築工房 「新建築」新建築社 9Ⅰ(5) 2024.4 p66~73,176

青木 周蔵 あおき・しゅうぞう

○明治初年における井上馨の外交思想と青木周蔵(原島実穂)「駒澤大学大学院史学論集」駒澤大学大学院史学会 53) 2023.5 p47~62

○憲政史を歩く(108) 青木周蔵(あおきしゅうぞう)を歩く(1)(仙田直人)「選挙：選挙や政治に関する総合情報誌」都道府県選挙管理委員会連合会 7Ⅰ(12) 2023.12 p20

○憲政史を歩く(109) 青木周蔵(あおきしゅうぞう)を歩く(2)(仙田直人)「選挙：選挙や政治に関する総合情報誌」都道府県選挙管理委員会連合会 7Ⅰ(1) 2024.1 p26

○プロイセン人青木周蔵の足跡断章 1)ベルリン法学生(市川薫教授退職記念号)(森川潤)「広島修大論集」広島修道大学学術交流センター 6Ⅰ(2) 通号124 2024.2 p89~102

○プロイセン人青木周蔵の足跡断章 2)ドイツ駐宮公使 1)(森川潤)「広島修大論集」広島修道大学学術交流センター 6Ⅰ(1) 通号125 2024.9 p139~152

○シユタイレック城所蔵の「青木周蔵関係資料」(真辺美佐)「日本歴史」吉川弘文館 928) 2025.9 p64~74

青木 淳 あおき・じゅん

○青木淳退任記念展 雲と息つき：テンポラリーなりノベーションとしての展覧会 番外編：設計 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 青木淳研究室 「新建築」新建築社 9Ⅰ(1) 2024.1 p104~111,194

○座談会 イメージの中の超高層(超高層とは何なのか?)(青木淳,湯浅良介,吉江俊,勝矢武之,海野玄陽,竹中大史)「建築雑誌」日本建築学会 14Ⅰ(1798) 2025.3 p28~33

青木 淳一 あおき・じゅんいち

○青木淳一博士(1935—2022)を悼む(追悼 青木淳一博士追悼文)「日本ダニ学会誌」日本ダニ学会編集部 3Ⅰ(1) 2023.5 p30~37

○追悼青木淳一先生(青木子爵家の一番長い日(第50号記念号)(保科英人)「さやばねニューシ리즈」日本甲虫学会 50) 2023.6 p64~71

○甲虫コレクションガイド(30) 青木淳一先生の甲虫コレクション：青

人物文献目録 2023-2025 I 日本人編

2026年6月25日 第1刷発行

発行者／山下浩

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／株式会社平河工業社

© Nichigai Associates, Inc. 2026

不許複製・禁無断転載 (中性紙北越淡クリームキンマリ使用)

<落丁・乱丁本はお取り替えます>

ISBN978-4-8169-3099-7 *Printed in Japan, 2026*

本書はデジタルデータを有償販売しております。
詳細はお問い合わせください。